

マイケル・P・ウイリアムス
アルバン・M・コジマ
共編

日本随筆大成

総目次・索引

日本学研究所蔵部
ヴァン・ペルト図書館
ペンシルヴァニア大学

Table of Contents and Index to *Nihon Zuihitsu Taisei*

compiled by Michael P. Williams and Alban M. Kojima
for educational purposes only

Japanese Studies Collection
Van Pelt-Dietrich Library
University of Pennsylvania

June, 2008

目次

旧版総目次	1
新装版総目次	10
編述者索	22
題名索引	33

第一期第一卷

梅村載筆	林羅山	頁一
筆のすさび	菅茶山	頁六三
羈旅漫録	滝沢馬琴	頁一三七
仙台問語	林笠翁	頁二五七
春波楼筆記	司馬江漢	頁三九五
瓦礫雜考	喜多村信節	頁四六七
紙魚室雜記	城戸千楯	頁五五七
桂林漫録	桂川中良(森島中良)	頁六四七
柳亭記	柳亭種彦	頁六八七
尚古造紙插	著者不詳(曉鐘成)	頁七六一

第一期第二卷

雲錦隨筆	曉晴翁(曉鐘成)	頁一
松屋棟梁集	高田與清(小山田与清)	頁一三七
檀園隨筆	中島広足	頁一七五
近世女風俗考	生川春明(生川正香)	頁二五七
蘿月庵国書漫抄	尾崎雅嘉	頁三七九
画譚鷄助	仲山高陽(中山高陽)	頁五二三
煙霞綺談	西村白鳥	頁五五九
柳亭筆記	柳亭種彦	頁六〇五
磯山千鳥	堀秀成	頁七二五
橘窓自語	橋本経亮	頁七三九

第一期第三卷

玄同放言	滝沢馬琴	頁一
都の手ぶり	石川雅望	頁二五一
織錦舎隨筆	村田春海	頁二六九
睡余小録	藤原吉迪(河津三白)	頁三七五
八水隨筆	著者未詳	頁四九九
歴世女装考	岩瀬京伝(山東京伝)	頁五一五
書僧贅筆	著者未詳	頁六八七
檜の落葉物語	伴林光平	頁七二一
金曾木	大田南畝	頁七二七
鋸宵譚	谷川士清	頁七五九

第一期第四卷

上代衣服考	豊田長敦	頁一
雨窓閑話	著者未詳	頁四九
屋氣野隨筆	小野高潔	頁一〇三
寸錦雜綴	著者不詳(森島中良)	頁一一五
半日閑話	大田覃(大田南畝)	頁一九一
泊酒筆話	清水浜臣	頁七三五
弁正衣服考	著者未詳	頁七六九
心の双紙	松平樂翁(松平定信)	頁七九五

第一期第五卷

過庭紀談	原瑜	頁一
嚶々筆語	野之口隆正(大國隆正)	頁一一三
花街漫録	西村貌庵	頁二一五
遠碧軒記	黒川道祐	頁三六三
風のしがらみ	土肥経平	頁五二九
著作堂一夕話	滝沢馬琴	頁六四三
海人のくぐつ	中島広足	頁七一三
遊芸園随筆	川路聖謨	頁七四五
善庵随筆	朝川鼎	頁七六五

第一期第六卷

古老茶話	柏崎永以	頁一
秉燭譚	伊藤東涯	頁一三三
四方の硯	畑鶴山	頁二一七
梅園叢書	三浦安貞(三浦梅園)	頁三九七
野乃舎随筆	大石千引	頁四五五
おもひくさ	本居宣長	頁四九一
閑窓瑣談	佐々木高貞(為永春水)	頁五〇三
還魂紙料	柳亭種彦	頁五六五
擁書漫筆	高田與清(小山田与清)	頁六六一
西洋画談	司馬江漢	頁八〇五

第一期第七卷

思ひの儘の記	勢多章甫	頁一
用捨箱	柳亭種彦	頁一〇五
向岡閑話	大田南畝	頁二一一
撈海一得	鈴木煥卿(鈴木澶州)	頁三〇三
松陰随筆	鈴木基之	頁三五一
槻の落葉信濃漫録	荒木田久老	頁三六五
兼葭堂雜録	暁鐘成 <small>撰</small>	頁四〇一
文会雜記	木村孔恭(木村兼葭堂) <small>稿</small>	頁五〇一
閑窓瑣談後篇	湯淺常山	頁五五一
畏庵随筆	佐々木高貞(為永春水)	頁七一一
	若槻敬(若槻幾齋)	頁七七一

第一期第八卷

北辺随筆	富士谷御杖	頁一
燕居雜話	日尾荆山	頁一二五
骨董集	岩瀬京伝(山東京伝)	頁二七五
かしのしづ枝	中島広足	頁四七五
幽遠随筆	入江昌喜	頁五四一
松屋叢考	高田與清(小山田与清)	頁五九七
宮川舎漫筆	宮川政運	頁六七九
駒谷芻言	松村梅岡	頁七七七

南嶺遺稿	多田義俊(多田南嶺)	頁六六一	第一期第九卷	南嶺子評	南嶺子	頁二九三
統昆陽漫録補	青木昆陽	頁六三九	閑田耕筆	閑田耕筆	頁四九七	
統昆陽漫録	青木昆陽	頁六一三	閑田次筆	閑田次筆	頁六三九	
昆陽漫録	青木昆陽	頁四三三	天神祭十二時	山含亭意雅栗三	頁七七九	
一宵話	牧墨僊	頁三三五	第一期第十卷	伊勢貞丈	頁三五五	
齊諧俗談	大朮東華	頁二四七	筆の御霊	山崎美成	頁三六三	
嗚呼矣草	田宮仲宣(盧橘庵)	頁一七九	東牖子	伴蒿蹊	頁四九七	
筆の御霊	田沼善一	頁一	嗚呼矣草	伴蒿蹊	頁六三九	
又樂庵示蒙話	栗原信充	頁二六三	一宵話	伊勢貞丈	頁三五五	
南嶺子	多田義俊(多田南嶺)	頁二九三	昆陽漫録	山崎美成	頁三六三	
南嶺子評	多田義俊(多田南嶺)	頁二九三	統昆陽漫録	伴蒿蹊	頁四九七	
世事百談	伊勢貞丈	頁三五五	統昆陽漫録補	伴蒿蹊	頁六三九	
閑田耕筆	山崎美成	頁三六三	南嶺遺稿	山含亭意雅栗三	頁七七九	
閑田次筆	伴蒿蹊	頁四九七	古今沿革考	柏崎永以	頁一	
天神祭十二時	伴蒿蹊	頁六三九	異説まちまち	鳥江正路(和田正路)	頁五七	
第一期第十卷	山含亭意雅栗三	頁七七九	閑際筆記	藤井懶齋	頁一四五	
			独語	太宰春台	頁二二三	
			又樂庵示蒙話	栗原信充	頁二六三	
			南嶺子	多田義俊(多田南嶺)	頁二九三	
			南嶺子評	伊勢貞丈	頁三五五	
			世事百談	山崎美成	頁三六三	
			閑田耕筆	伴蒿蹊	頁四九七	
			閑田次筆	伴蒿蹊	頁六三九	
			天神祭十二時	山含亭意雅栗三	頁七七九	

南嶺遺稿評	伊勢貞丈	頁七二三	第一期第十一卷	年々隨筆	石原正明	頁一
秉穂録	岡田挺之(岡田新川)	頁七二一	嘉良喜隨筆	嘉良喜隨筆	山口幸充	頁一一三
花街漫録正誤	喜多村信節	頁七八三	烹雜の記	三のしるべ	滝沢馬琴	頁三五三
			好古日録	好古日録	藤井高尚	頁四四七
			好古小録	好古小録	藤井貞幹(藤貞幹)	頁四九三
			奇遊談	奇遊談	藤井貞幹(藤貞幹)	頁五八三
			茅窓漫録	茅窓漫録	川口好和	頁六六七
			庖丁書録	庖丁書録	茅原定(茅原虚齋)	頁七二一
			こがね草	こがね草	林道春(林羅山)	頁八五九
			第一期第十二卷	第一期別巻上	石川雅望	頁八七五
			耽奇漫録	一話一言(卷1-24)	滝沢馬琴	
			第一期別巻上	一話一言(卷1-24)	大田南畝	
			一話一言(卷1-24)	一話一言(卷1-24)	大田南畝	

第一期別巻下

一話一言(巻25-48)

大田南畝

第二期第一巻

兎園小説
草盧漫筆
松屋叢話
提醒紀談
円珠庵雜記
仮名世説
一時隨筆
梅の塵
当代江都百化物

滝沢馬琴
武田信英
小山田与清
山崎美成
僧契沖
大田南畝
岡西惟中
梅の舎(梅の舎主人)
馬場文耕

頁一
頁三四七
頁四一七
頁四六七
頁五八七
頁六四七
頁七〇三
頁七五一
頁七八七

第二期第二巻

筱舎漫筆
萍花漫筆
兎園小説外集
兎園小説別集
八十翁疇昔話

西田直養
桃華園(桃華園三千麿)
滝沢馬琴
滝沢馬琴
新見正朝(財津種莖)

頁一
頁三二五
頁三六七
頁四二九
頁五四九

牟芸古雅志
雲萍雜志
閑なるあまり
画証録

瀨川如臯
柳沢里恭(柳里恭)
松平定信
喜多村信節

頁五九三
頁六六九
頁七四九
頁七六一

第二期第三巻

兎園小説余録
兎園小説拾遺
保敬隨筆
梅園拾葉
新著聞集
雉岡隨筆
三養雜記
清風瑣言
尤の草紙
近世奇跡考

滝沢馬琴
滝沢馬琴
小泉保敬
三浦梅園
著者不詳(神谷養勇軒)
五十嵐篤好
山崎美成
上田秋成
著者不詳(斎藤徳元)
山東京伝

頁一
頁七一
頁一五五
頁一八一
頁二二五
頁四三五
頁四九五
頁五九一
頁六二一
頁六七一

第二期第四巻

它山石初編
筠庭雜録
勇魚鳥
蜘蛛の糸巻
橘窓茶話

松井輝星(松井羅州)
喜多村信節
北山久備
岩瀬京伝(山東京伝)
雨森芳洲

頁一
頁七九
頁一五七
頁二九一
頁三三五

一挙博覧	鈴木忠候	頁四二一	笈埃隨筆	百井塘雨	頁二九五
萍の跡	釋位綱	頁四五七	玲瓏隨筆	釋沢庵(沢庵宗彭)	頁五六九
筠庭雜考	喜多村信節	頁四九七	十八大通	三升屋二三治	頁六八五
目さまし草	清中亭叔親	頁六一三	本朝世事談綺	菊岡沾涼	頁七〇一
反古籠	森島中良	頁六五三			
閑窓自語	柳原紀光	頁六六九			
雜說囊話	林自見	頁七〇七			
第二期第五卷			第二期第七卷		
先進繡像玉石雜誌	栗原信充	頁一	河社	釋契沖	頁一
二川隨筆	細川宗春	頁一	多波礼草	雨森芳洲	頁一七五
飛鳥川	山川素石	頁三七三	本朝世事談綺正誤	山崎美成	頁二四一
続飛鳥川	著者未詳(柴村盛方)	頁四一一	桑楊庵一夕話	岸誠之(頭光)	頁二九五
江戸雀	著者未詳	頁四二九	鄰女晤言	釋慈延	頁三六七
積翠閑話	著者未詳(菱川師宣撰)	頁四四七	蓴菜草紙	多田義寛	頁四五一
尾崎雅嘉隨筆	中村經年(松亭金水)	頁六七九	足薪翁記	柳亭種彦	頁四八五
閑窓筆記	尾崎雅嘉	頁七六三	奴師勞之	大田南畝	頁六〇七
	西村遠里	頁七八一	比古婆衣	伴信友	頁六一七
			西山公隨筆	徳川光圀	頁七八一
第二期第六卷			第二期第八卷		
梅翁隨筆	著者未詳	頁一	南留別志	荻生徂徠	頁一
桜の林	千家尊澄	頁一一七	可成三註	篠崎東海等	頁四九
新增補浮世絵類考	笹屋邦教等	頁一五五	非南留別志	富士谷成章	頁一一五
			南留別志の弁	著者未詳	頁一三三
			あるまじ	伊勢貞丈	頁一四七

<p>第二期第九卷</p> <p>遊京漫録 胡蝶庵随筆 柳庵随筆初編 柳庵随筆 柳庵随筆余編 曲肱漫筆 薰風雑話 立路随筆 北国奇談巡杖記 南屏燕語 答問雑稿</p>	<p>清水浜臣 釋聖心 栗原信充 栗原信充 栗原信充 著者不詳 洪川時英 林百助 鳥翠臺北巫(北莖) 釋南山 清水浜臣</p>	<p>頁一 頁七七 頁一〇一 頁一三一 頁四一九 頁四三一 頁四六三 頁五一七 頁五五一 頁六一一 頁六八九</p>	<p>第二期第十卷</p> <p>楓軒偶記</p>	<p>小宮山昌秀</p>	<p>頁一</p>	<p>ざるべし 北窓瑣談 酣中清話 三省録 三省録後編 火浣布略説 年山紀聞</p>	<p>谷真潮 橘春暉(橘南谿) 小島知足(小島成齋) 志賀忍(志賀理齋) 原義胤(原徳齋) 平賀鳩溪 安藤為章</p>	<p>頁一五三 頁一五五 頁三四五 頁三九三 頁四八九 頁六〇一 頁六二五</p>	<p>第二期第九卷</p>	<p>第二期第十卷</p>
<p>第二期第十一卷</p> <p>折々草 難波江 下馬のおとなひ 松の落葉 蟹の焼藻の記 闇の曙</p>	<p>建部綾足 岡本保孝 堀秀成 藤井高尚 森山孝盛 新井白蛾</p>	<p>頁一 頁八七 頁五一 頁五二三 頁六九三 頁七五五</p>	<p>第二期第十二卷</p> <p>卯花園漫録 雅遊漫録 赤穂義士随筆 思斉漫録</p>	<p>石上宣統 大枝流芳 山崎美成 中村弘毅(中村新齋)</p>	<p>頁一 頁二四一 頁三六七 頁五〇一</p>	<p>諼草小言 銀鷄一睡南柯乃夢 猿著聞集 燕石雜志 静軒痴談 閑散余録 於路加於比 只今御笑草 夏山雑談</p>	<p>小宮山昌秀 畑銀鷄 八島定岡(八島五岳) 滝沢馬琴 寺門静軒 南川維遷(南川金溪) 柳亭種彦(笠亭仙果) 瀨川如皐 小野高尚</p>	<p>頁六九 頁九七 頁一四一 頁二二一 頁五〇三 頁五五三 頁五九三 頁六六五 頁六九五</p>	<p>第二期第十一卷</p>	<p>第二期第十二卷</p>

南畝莠言	大田覃(大田南畝)	頁五二九
晤語	名嶋政方	頁六〇九
翰軒小録	伊藤東涯	頁六八三
莘野茗談	平秩東作	頁七一三
なるの日並	笠亭仙果	頁七三一
諸国里人談	菊岡沾涼	頁七五九
第二期別巻一		
嬉遊笑覧(巻1-5)	喜多村信節	
第二期別巻二		
嬉遊笑覧(巻6-12・附)	喜多村信節	
第三期第一巻		
傍廂	齋藤彦麻呂	頁一
傍廂糾繆	岡本保孝	頁一一五
ねざめのすさび	石川雅望	頁一二九
理齋隨筆	志賀忍(志賀理齋)	頁一九五
花月草紙	松平定信	頁三五三
浪華百事談	著者未詳	頁四二九
異本洞房語園	庄司勝富	頁六七一

洞房語園異本考異	徒流(石原徒流)	頁七二一
洞房語園後集	庄司勝富	頁七五五
筆のすさび	橘泰	頁七六七
おほうみのほら	富士谷成章	頁八三三
第三期第二巻		
中陵漫録	佐藤成裕(佐藤中陵)	頁一
柳庵雜筆	栗原信充	頁三三七
古今雜談思出草紙	栗原東隨舎(東隨舎)	頁四二五
俗耳鼓吹	大田南畝	頁五四九
消閑雜記	岡西惟中	頁五九一
賤のをだ巻	森山孝盛	頁六三三
醒睡笑	安樂庵策伝	頁六七三
近世商賈尽狂歌合	石塚豊芥子	頁七四七
第三期第三巻		
天朝墨談	五十嵐篤好	頁一
蒼悟隨筆	大塚義樹(大塚蒼悟)	頁一一一
梅窓筆記	橋本経亮	頁二六三
関の秋風	松平定信	頁三一
浪華の風	久須美祐雋	頁三三一
癩癩談	上田秋成	頁三五一
三余叢談	長谷川宣昭	頁三八五

旧版総目次

孝経楼漫筆	鳥おどし	松亭漫筆	愚雑俎	我宿草	百草	第三期第五卷	榊巷談苑	訓蒙浅語	莛響録	凌雨漫録	天野政徳随筆	見た京物語	妙々奇談	後松日記	第三期第四卷	南向茶話附追考	むさしあぶみ	駿台雑話	近來見聞漸の苗	とはずかたり
山本北山	川崎重恭	中村經年(松亭金水)	田宮仲宣(盧橋庵)	太田道灌(著者未詳)	逸名氏(著者未詳)		榊原玄輔(榊原豊洲)	大田晴軒	高橋宗直	著者不詳	天野政徳	二鐘亭半山(木室卯雲)	(周滑平)	松岡行義		酒井忠昌	浅井了意	室鳩巢	暁鐘成	中井盤庵
頁二七七	頁二六一	頁二〇三	頁一四七	頁一二七	頁一		頁七七五	頁七三三	頁六九七	頁六七三	頁五八三	頁五六三	頁五四一	頁一	頁七六七	頁七二七	頁五四三	頁四七一	頁四四三	

甲子夜話(卷1-50)	第三期第七卷	桃岡雑記	白石先生紳書	後は昔物語	瀨田問答	梅園日記	難後言	しりうごと	麓の花	百草露	第三期第六卷	松竹問答	春湊浪話	春雨譚	牛馬問	関秘録	金剛談
(松浦静山)		八田知紀	新井白石	手柄岡持	大田章(大田南畝)	北慎言(北静廬)	花垣幸国	小説家主人	山崎美成	含弘堂偶齋		松岡辰方	土肥経平	高井蘭山	新井白蛾	逸名氏(著者未詳)	小林元儔
		頁七六三	頁五八九	頁五六三	頁五三五	頁三五五	頁三四五	頁三一五	頁二七九	頁一		頁七八一	頁六九七	頁六一五	頁五五七	頁三七五	頁三六五

旧版総目次

第三期第八卷

甲子夜話(卷
51-100)

(松浦静山)

第三期第九卷

塩尻(卷
1-50)

天野信景

第三期第十卷

塩尻(卷
51-100)

天野信景

第三期第十一卷

翁草(卷
1-63)

(神沢貞幹)

第三期第十二卷

翁草(卷
64-132)

(神沢貞幹)

第三期第十三卷

翁草(卷
133-200)

(神沢貞幹)

第一期第一卷

梅村載筆

林羅山 割記

藤原惺窩 口語

頁一

筆のすさび

管茶山 著

頁七三

羈旅漫録

曲亭馬琴 (滝沢馬琴) 著

頁一五九

仙台間話

林笠翁 著

頁三〇五

第一期第二卷

春波楼筆記

司馬江漢 著

頁一

瓦礫雜考

喜多村信節 著

頁七九

紙魚室雜記

城戸千楯 著

頁一八一

桂林漫録

桂川中良 (森島中良) 著

頁二七七

柳亭記

柳亭種彦 著

頁三二三

尚古造紙挿

曉鐘成 編

頁四〇七

第一期第三卷

雲錦隨筆

暁晴翁 (暁鐘成) 著

頁一

松屋棟梁集

小山田与清 著

頁一四九

檀園隨筆

中島広足 著

頁一九九

近世女風俗考

生川春明 (生川正香) 著

頁三〇七

第一期第四卷

蘿月庵国書漫抄

尾崎雅嘉 著

頁一

画譚鷄助

中山高陽 著

頁一五七

煙霞綺談

西村白鳥 輯

頁一九七

柳亭筆記

柳亭種彦 著

頁二四七

磯山千鳥

堀秀成 著

頁三九三

橘窓自語

橋本経亮 著

頁四一三

第一期第五卷

玄同放言

曲亭馬琴 (滝沢馬琴) 著

頁一

都の手ぶり

石川雅望 著

頁二八七

織錦舎隨筆

村田春海 著

頁三〇九

第一期第六卷

睡余小録

河津吉迪 (河津三白) 著

頁一

八水隨筆

著者未詳

頁一二五

歴世女装考

山東京伝 編

頁一四五

書僧贅筆

著者未詳

頁三三九

檜の落葉物語

伴林光平 著

頁三七五

金曾木

大田南畝 著

頁三八三

鋸宵譚

谷川士清 著

頁四二一

第一期第七卷

上代衣服考	豊田長敦 著	頁一
雨窓閑話	著者未詳	頁五七
屋氣野随筆	小野高潔 著	頁一二三
寸錦雜綴	森島中良 編	頁一三七
泊酒筆話	清水浜臣 著	頁二一三
弁正衣服考	著者未詳	頁二五三
心の双紙	松平定信 著	頁二八一

第一期第八卷

半日閑話	大田南畝 著 後人 追補	
------	-----------------	--

第一期第九卷

過庭紀談	原雙桂(原瑜) 著	頁一
嚶々筆語	野々口隆正(大國隆正) 等著	頁一二一
花街漫録	西村藐庵 著	頁二三九

第一期第十卷

遠碧軒記	黒川道祐 著 難波宗建 編	頁一
------	------------------	----

風のしがらみ	土肥経平 編	頁一七七
著作堂一夕話	曲亭馬琴(滝沢馬琴) 著	頁二九七
海人のくぐつ	中島広足 著	頁三七七
善庵随筆	朝川鼎 著	頁四一九

第一期第十一卷

古老茶話	柏崎永以 著	頁一
秉燭譚	伊藤東涯 著	頁一六三
四方の硯	畑鶴山 著	頁二五九

第一期第十二卷

梅園叢書	三浦安貞(三浦梅園) 著	頁一
野乃舎随筆	大石千引 著	頁六九
おもひくさ	本居宣長 著	頁一五
閑窓瑣談	佐々木貞高(為永春水) 著	頁一三三
還魂紙料	柳亭種彦 著	頁二〇三
擁書漫筆	小山田与清 著	頁三〇七
西洋画談	司馬江漢 著	頁四七九

第一期第十三卷

思ひの儘の記	勢多章甫 著	頁一
--------	--------	----

	東牖子	田宮仲宣(盧橘庵)著	頁九一
	嗚呼矣草	田宮仲宣(盧橘庵)著	頁一九七
	齊諧俗談	大拙東華著	頁二八五
	一宵話	秦鼎著 牧墨僊編	頁三七五
第一期第廿卷			
昆陽漫録	青木昆陽著	頁一	
続昆陽漫録	青木昆陽著	頁一九九	
続昆陽漫録補	青木昆陽著	頁二二九	
南嶺遺稿	多田義俊(多田南嶺)著	頁二五七	
南嶺遺稿評	伊勢貞丈著	頁三一九	
秉穂録	岡田新川著	頁三二七	
第一期第廿一卷			
年々随筆	石原正明著	頁一	
嘉良喜随筆	山口幸充著	頁一九	
烹雜の記	曲亭馬琴(滝沢馬琴)著	頁四一三	
第一期第廿二卷			
三のしるべ	藤井高尚著	頁一	
	好古日録	藤原貞幹(藤貞幹)著	頁五一
	好古小録	藤原貞幹(藤貞幹)著	頁一五三
	茅窓漫録	茅原虚斎著	頁二四三
第一期第廿三卷			
遊芸園随筆	川路聖謨著	頁一	
奇遊談	川口好和著	頁二六九	
庖丁書録	林羅山著	頁三三三	
こがね草	石川雅望著	頁三五一	
花街漫録正誤	喜多村信節著	頁三六一	
	山崎美成稿		
第二期第一卷			
兔園小説	曲亭馬琴(滝沢馬琴)編	頁一	
草廬漫筆	武田信英著	頁三五七	
第二期第二卷			
松屋叢話	小山田与清著	頁一	
提醒紀談	山崎美成著	頁五五	
円珠庵雜記	釈契冲著	頁一七七	
仮名世説	大田南畝著		

	一時隨筆	文宝堂散木補	頁二四一
	梅の塵	岡西惟中著	頁二九九
	梅の舎主人著	梅の舎主人著	頁三五一
	当代江都百化物	馬場文耕著	頁三八七
第二期第三卷			
筱舎漫筆	西田直養著	頁一	
萍花漫筆	桃華園三千磨著	頁三三七	
兔園小説外集	曲亭馬琴(滝沢馬琴)著	頁三七七	
第二期第四卷			
兔園小説別集	曲亭馬琴(滝沢馬琴)編	頁一	
八十翁疇昔話	財津種莢著	頁一二五	
牟芸古雅志	二世瀬川如皐編	頁一六九	
雲萍雜誌	著者未詳(柳里恭)	頁二四一	
閑なるあまり	松平定信著	頁三二七	
画証録	喜多村信節著	頁三三九	
第二期第五卷			
兔園小説余録	曲亭馬琴(滝沢馬琴)著	頁一	
兔園小説拾遺	曲亭馬琴(滝沢馬琴)編	頁七三	
	保敬隨筆	小泉保敬著	頁一六一
	梅園拾葉	三浦梅園著	頁一八七
	新著聞集	神谷養勇軒著	頁二三一
第二期第六卷			
雉岡隨筆	五十嵐篤好著	頁一	
三養雜記	山崎美成著	頁六三	
清風瑣言	上田秋成著	頁一六三	
尤の草紙	斎藤徳元著	頁一九五	
近世奇跡考	山東京伝著	頁二五一	
第二期第七卷			
它山石初編	松井羅州著	頁一	
筠庭雜録	喜多村信節著	頁七五	
勇魚鳥	北村久備(北山久備)著	頁一五七	
蜘蛛の糸巻	山東京伝著	頁二九五	
橘窓茶話	雨森芳洲著	頁三四七	
第二期第八卷			
一挙博覧	鈴木忠候著	頁一	
萍の跡	釈位綱著	頁四三	

梅翁随筆	第二期第十一卷	著者未詳	頁一	笥庭雜考	喜多村信節 著	頁八七
				目さまし草	清中亭叔親 著	頁二〇五
				反古籠	森島中良 著	頁二四五
				閑窓自語	柳原紀光 著	頁二六三
				雑説囊話	林自見 著	頁三五一
				第二期第九卷		
				先進繡像玉石雜誌	栗原信充 編	頁一
				二川随筆	細川宗春 著	頁三九一
					山川素石 著	
				第二期第十卷		
				飛鳥川	柴村盛方 著	頁一
				続飛鳥川	著者未詳	頁二三
				江戸雀	菱川師宣 撰・画	頁四五
				積翠閑話	中村経年(松亭金水) 著	頁二七五
				尾崎雅嘉随筆	尾崎雅嘉 著	頁三六七
				閑窓筆記	西村遠里 著	頁三八七
				第二期第十三卷		
				桜の林	千家尊澄 問	頁一二三
				新增補浮世絵類考	岩政信比古 答	頁一六七
				竜田舎秋錦	編	
				第二期第十二卷		
				笈埃随筆	百井塘雨 著	頁一
				玲瓏随筆	釈宗彭(沢庵宗彭) 著	頁二八七
				十八大通	三升屋二三治 著	頁三九七
				本朝世事談綺	菊岡沾涼 著	頁四一七
				第二期第十四卷		
				河社	釈契冲 著	頁一
				多波礼草	雨森芳洲 著	頁一八三
				本朝世事談綺正誤	山崎美成 著	頁二四五
				桑楊庵一夕話	岸誠之(頭光) 著	頁三〇三
				鄰女晤言	釈慈延 著	頁三七五
				尊菜草紙	多田義寛 著	頁一
				足薪翁記	柳亭種彦 著	頁四三
				奴師勞之	大田南畝 著	頁一七三

比古婆衣	伴信友 著	頁一九七
西山公隨筆	徳川光圀 著	頁三六七
第二期第十五卷		
南留別志	荻生徂徠 著	頁一
可成三註	篠崎東海 他著	頁五一
非南留別志	富士谷成章 著	頁一二三
南留別志の弁	著者不詳	頁一四三
あるまじ	伊勢貞丈 著	頁一五七
ざるべし	谷真潮 著	頁一六三
北窓瑣談	橘春暉(橘南谿) 著	頁一六九
酣中清話	小島知足(小島成齋) 著	頁三五一
第二期第十六卷		
三省録	志賀忍(志賀理齋) 著	頁一
三省録後編	原徳齋(原義胤) 補訂	頁一一三
火浣布略説	平賀鳩溪 編	
	関東門人中島貞叔 校	
	関東門人中島永貞 校	
年山紀聞	安藤為章 著	頁二三七
		頁二五七

第二期第十七卷		
遊京漫録	清水浜臣 著	頁一
胡蝶庵隨筆	釈聖応 著	頁二九
柳庵隨筆初編	栗原柳庵(栗原信充) 著	頁一五五
柳庵隨筆	栗原柳庵(栗原信充) 著	頁一八九
第二期第十八卷		
柳庵隨筆余編	栗原柳庵(栗原信充) 著	頁一
曲肱漫筆	著者未詳	頁一三
薰風雜話	渋川時英 著	頁四七
立路隨筆	林百助 著	頁一〇五
北国奇談巡杖記	鳥翠台北埜(北埜) 著	頁一四三
南屏燕語	釈南山 著	頁二〇七
答問雜稿	清水浜臣 著	頁二九七
第二期第十九卷		
楓軒偶記	小宮山昌秀 著	頁一
諷草小言	小宮山昌秀 著	頁二三三
燕石雜志	曲亭馬琴(滝沢馬琴) 著	頁二六三

第二期第廿卷

静軒痴談	寺門静軒 著	頁一
閑散余録	南川維遷(南川金溪) 著	頁五三
於路加於比	笠亭仙果 著	頁九五
只今御笑草	瀬川如臯 著	頁一七九
夏山雑談	平直方(小野高尚) 述	頁二一一
銀鷄一睡南柯乃夢	畑銀鷄 著	頁三五五
猿著聞集	八島定岡(八島五岳) 著	頁四〇一

第二期第廿一卷

折々草	建部綾足 著	頁一
難波江	岡本保孝 著	頁九一

第二期第廿二卷

下馬のおとなひ	堀秀成 著	頁一
松の落葉	藤井高尚 著	頁一七
蜚の焼藻の記	森山孝盛 著	頁一九九
闇の曙	新井白蛾 著	頁二六五

第二期第廿三卷

卯花園漫録	石上宣統 著	頁一
-------	--------	----

雅遊漫録

大枝流芳 著	頁二五三
--------	------

第二期第廿四卷

赤穂義士随筆	山崎美成 著	頁一
思斉漫録	中村弘毅(中村新斎) 著	頁一三七
南畝莠言	大田南畝 著	頁一六七
晤語	文宝亭 編	頁二四九
輪軒小録	名嶋政方 著	頁三二九
莘野茗談	伊藤東涯 著	頁三六三
なるの日並	平秩東作 著	頁三八三
諸国里人談	笠亭仙果 著	頁四一三
	菊岡沾涼 著	頁四一三

第三期第一卷

傍廂	斎藤彦麻呂 著	頁一
傍廂糾繆	岡本保孝 著	頁一三五
ねざめのすさび	石川雅望 著	頁一五一
理斎随筆	志賀忍(志賀理斎) 著	頁二二五
花月草紙	松平定信 著	頁三八七

第三期第二卷

浪華百事談	著者未詳	頁一
異本洞房語園	庄司勝富 著	頁二八九
洞房語園後集	庄司勝富 著	頁三四七
洞房語園異本考異	石原徒流 著	頁三六三
筆のすさび	橘泰 著	頁四〇三
おほうみのはら	富士谷成章 著	頁四七三

第三期第三卷

中陵漫録	佐藤成裕(佐藤中陵) 著	頁一
柳庵雑筆	栗原信充 著	頁三六三

第三期第四卷

古今雑談思出草紙	東隨舎 著	頁一
俗耳鼓吹	大田南畝 著	頁一三三
消閑雑記	岡西惟中 著	頁一七九
賤のをだ巻	森山孝盛 著	頁二二五
醒睡笑	安樂庵策伝 著	頁二六九
近世商賈尽狂歌合	石塚豊芥子 著	頁三五五

第三期第五卷

天朝墨談	五十嵐篤好 著	頁一
蒼悟隨筆	大塚義樹(大塚蒼梧) 著	頁一五一
梅窓筆記	橋本経亮 著	頁三一
関の秋風	松平定信 著	頁三六五
浪華の風	久須美祐雋 著	頁三八七
癩癖談	上田秋成 著	頁四〇七

第三期第六卷

三余叢談	長谷川宣昭 著	頁一
とはずかたり	中井登庵 著	頁六五
近來見聞噺の苗	暁鐘成 著	頁九七
駿台雑話	室鳩巢 著	頁一七五
むさしあぶみ	浅井了意 著	頁三六九
南向茶話附追考	酒井忠昌 著	頁四一三

第三期第七卷

後松日記	松岡行義 著	
------	--------	--

第三期第八卷

見た京物語	木室卯雲 著	頁一
-------	--------	----

天野政徳隨筆	天野政徳 著	頁二五
凌雨漫録	著者未詳	頁一二七
莖響録	高橋宗直 著	頁一五五
訓蒙淺語	大田晴軒 著	頁一九五
榊巷談苑	榊原篁洲 著	頁二三九
第三期第九卷		
百草	著者未詳	頁一
我宿草	著者未詳	頁一三五
愚雜俎	田宮仲宣(盧橋庵) 著	頁二〇一
松亭漫筆	中村経年(松亭金水) 著	頁二九一
孝経楼漫筆	山本北山 著	頁三六三
第三期第十卷		
関秘録	著者未詳	頁一
牛馬問	新井白蛾 著	頁二〇三
和漢嘉話宿直文	三宅嘯山 著	頁二七五
春湊浪話	土肥経平 著	頁三七五
松竹問答	松岡辰方 撰・問 竹屋光棟 答	頁四四七

第三期第十一卷		
百草露	含弘堂偶斎 著	頁一
麓の花	山崎美成 著	頁二九三
妙々奇談	周滑平 著	頁三四七
しりうごと	小説家主人 著	頁四〇五
難後言	遠藤春足(花垣幸国) 著	頁四四九
鳥おどし	川崎重恭 著	頁四五七
金剛談	小林元僞 著	頁四七五
第三期第十二卷		
梅園日記	北静廬 著	頁一
瀬田問答	大田南畝 編・問 瀬名貞雄 答	頁二三一
後は昔物語	手柄岡持 著	頁二六三
白石先生紳書	新井白石 著	頁二九七
桃岡雜記	八田知紀 著	頁四八一
第三期第十三卷		
塩尻(卷1-25)	天野信景 著	

新装版総目次

第三期第十四卷	塩尻(巻 26-50)	天野信景 著
第三期第十五卷	塩尻(巻 51-71)	天野信景 著
第三期第十六卷	塩尻(巻 72-100)	天野信景 著
第三期第十七卷	塩尻拾遺(巻 1-50)	天野信景 著
第三期第十八卷	塩尻拾遺(巻 51-120)	天野信景 著
第三期第十九卷	翁草(巻 1-35)	神沢貞幹 著

第三期第廿卷	翁草(巻 36-63)	神沢貞幹 著
第三期第廿一卷	翁草(巻 64-102)	神沢貞幹 著
第三期第廿二卷	翁草(巻 103-132)	神沢貞幹 著
第三期第廿三卷	翁草(巻 133-166)	神沢貞幹 著
第三期第廿四卷	翁草(巻 167-200)	神沢貞幹 著

別巻第一巻

一話一言(巻1-8)
大田南畝 著

別巻第二巻

一話一言(巻9-16)
大田南畝 著

別巻第三巻

一話一言(巻17-24)
大田南畝 著

別巻第四巻

一話一言(巻24-32)
大田南畝 著

別巻第五巻

一話一言(巻33-39)
大田南畝 著

別巻第六巻

一話一言(巻33-39・補遺)
大田南畝 著

別巻第七巻

嬉遊笑覧(巻1-3)
喜多村信節 編著

別巻第八巻

嬉遊笑覧(巻4-6)
喜多村信節 編著

別巻第九巻

嬉遊笑覧(巻7-9)
喜多村信節 編著

別巻第十巻

嬉遊笑覧(巻10-12・附録)
喜多村信節 編著

あおきこんよう
青木昆陽

昆陽漫録(こんようまんろく)
続昆陽漫録(ぞくこんようまんろく)
続昆陽漫録補(ぞくこんようまんろくほ)

あかつきかねなり
暁鐘成

雲錦随筆(うんきんずいひつ)
近來見聞晰の苗(きんらいけんがくのみぶ) (きんらいけんがく)
兼葭堂雜録(けんかどうざつろく) (兼)
尚古造紙插(しょうこぞうしはさみ)

あさいりょうい
浅井了意

むさしあぶみ

あさかわかなえ あさかわぜんあん
朝川鼎(朝川善庵)

善庵随筆(ぜんあんずいひつ)

あまのさだかげ
天野信景

塩尻(じり)
塩尻拾遺(しおじりしゅうい)

あまのまさのり
天野政徳

天野政徳随筆(あまのまさのりずいひつ)

あめのもりほうしゅう
雨森芳洲

橘窓茶話(きつそうちやわ)
多波礼草(たわれくさ)

あらいはくが
新井白蛾

牛馬問(ぎゆうもん)
闇の曙(やみのあけぼの)

あらいはくせき
新井白石

白石先生紳書(はくせきせんしんしよ)

あらかだひさおゆ
荒木田久老

楓の落葉信濃漫録(つきのおちばし) (なのみんろく)

あんどうためあきら
安藤為章

年山紀聞(ねんざんきぶん)

あんらくあんさくでん
安楽庵策伝

醒睡笑(せいすいしょう)

いがらしあつよし
五十嵐篤好

雉岡随筆(ちおうざいひつ)

てんちよう
天朝墨談(ほくだん)

いこう
位綱

うきくさ
萍の跡(うきくさのあと)

いしかわまさもち
石川雅望

こがね草(こがねぐさ)
ねぎめのすさび
都の手ふり(みやこのてふり)

いしずかほうかいし
石塚豊芥子

きんせいあきんど
近世商賈尽狂歌合(きんせいあきんどくしまようかあわせ)

いしはらとりゅう
石原徒流

どうぼうごえん
洞房語園異本考異(どうぼうごえんいほんこうい)

いしはらまさあきら
石原正明

ねんねんずいひつ
年々随筆(ねんねんずいひつ)

いせさだたけ
伊勢貞丈

あるまじ
なんれいいい
南嶺遺稿評(なんれいいいこうひよう)
なんれい
南嶺子評(なんれいしひよう)

いそのかみのぶつぐ
石上宣統

卯花園漫録 (ほうかえん
まんろく)

いつめいし
逸名氏 (筆名・著者未詳)

関秘録 (かんび
ろく)

百草 (もも
くさ)

いととうがい
伊藤東涯

秉燭譚 (へいしよ
くたん)

輪軒小録 (りんけんし
ようろく)

いりえまさよし
入江昌喜

幽遠随筆 (ゆうえん
ずいひつ)

いわまささねひこ
岩政信比古

桜の林 (さくら
のりん)

うえだあきなり
上田秋成

癩癩談 (れいれい
だん)

清風瑣言 (せいふう
さげん)

うめ やしゆじん
梅の舎主人

梅の塵 (うめの
ちり)

おおいしちびき
大石千引

野乃舎随筆 (ののや
ずいひつ)

おおえだりゆうほう
大枝流芳

雅遊漫録 (がゆうま
んろく)

おおくにたかまさ
大國隆正

嚶々筆語 (おうおう
ひつご)

おおたせいけん
大田晴軒

訓蒙浅語 (くんもう
せんご)

おおたどうかん
太田道灌

我宿草 (わがや
どくさ) (著者未詳)

おおたなんぼ
大田南畝

一話一言 (いちわい
いちげん)

一話一言補遺 (いちわい
いちげん ぼい)

仮名世説 (かなせ
せつ)

かねぞく (かな
ぞく)

瀬田問答 (せだも
んどう)

俗耳鼓吹 (ぞくじ
こ)

南畝莠言 (なんほ
うげん)

半日閑話 (はんじち
かんわ)

向岡閑話 (むこうが
おかんわ)

奴師勞之 (だこ
らう)

おおつかそうご おおつかよしき
大塚蒼梧 (大塚嘉樹)

蒼悟随筆 (そうご
ずいひつ)

おおひとうか
大臈東華

齊諧俗談 (さいかい
ぞくだん)

おかだしんせん
岡田新川

秉穗録 (へいす
いろく)

おかにしいちゆう
岡西惟中

一時随筆 (いちじ
ずいひつ)

消閑雑記 (しょうか
んざつぎ)

おかもとやすたか
岡本保孝

傍廂糾繆 (かたびさし
き)

難波江(なにわえ)

荻生徂徠
おぎゆうそらい

南留別志(なるべし)

尾崎雅嘉
おざきまさよし

尾崎雅嘉随筆(おざきまさよし)

蘿月庵国書漫抄(らげつあんこく)

小野高潔
おのたかきよ

屋氣野随筆(やけのすい)

小野高尚
おのたかひさ

夏山雑談(なつやまざつだん)

小山田与清
おやまだともきよ

松屋叢考(まつのやそうこう)

松屋叢話(まつのやそうわ)

松屋棟梁集(まつのやとうりゆうしゆう)

擁書漫筆(ようしよまんびつ)

柏崎永以
かしわさきえい

古今沿革考(ここんえんかくこう)

古老茶話(ころうちやわ)

神谷養勇軒
かみやようゆうけん

新著聞集(しんちよもんじゆう)

川口好和
かわぐちこうわ

奇遊談(きゆうだん)

川崎重恭
かわさきしげたか

鳥おどし(とりおどし)

川路聖謨
かわじとしあきむ

遊芸園随筆(ゆうげいえん)

河津三白
かわずさんぱく

睡余小録(すいよしよく)

含弘堂偶齋(小野高潔)
がんこうどうぐうさい おのたかきよ

百草露(ひやくそうろ)

菅茶山
かんさざん

筆のすさび(すさびの)

神沢貞幹(神沢杜口)
かんざわていかん かんざわとう

翁草(おきなぐさ)

菊岡沾涼
きくおかせんりよう

諸国里人談(しよこくり)

本朝世事談綺(ほんちよう)

北静廬
きたせいろう

梅園日記(ばいえんにっき)

喜多村信節
きたむらのぶよ

筠庭雜考(いんてい)

筠庭雜錄(いんてい)

花街漫録正誤(かがいまん)

画証録(がしよ)

瓦礫雜考(がれきざ)

嬉遊笑覽(きゆうし)

北山久備
きたやまひさとも

勇魚鳥(いさな)

城戸千楯 きどちたて

紙魚室雜記 (しみむろざっき)

木村蒹葭堂 きむらけんかどう

蒹葭堂雜錄 (けんかどうざつろく) 編

木室卯雲 きむろぼううん

見た京物語 (みたきょうものがたり)

久須美祐雋 くすみゆうせん

浪華の風 (なにかぜ)

栗原信充 くりはらのぶみつ

先進繡像玉石雜誌 (せんしんしゅうざうぎよくせきざっし)

又樂庵示蒙話 (ゆうらくあんじもうわ)

柳庵雜筆 (りゅうあんざっぴつ)

柳庵隨筆(初編) (りゅうあんずいひつしよへん)

柳庵隨筆余編 (りゅうあんずいひつしよへん)

黒川道祐 くろかわどうゆう

遠碧軒記 (えんへきけんき)

契沖 けいちゆう

円珠庵雜記 (えんしゅあんざっき)

河社 (かわや)

原瑜 げんゆ

過庭紀談 (かていきだん)

小泉保敬 こいずみやすたか

保敬隨筆 (ほうけいずいひつ)

小説家主人 こごとこのようし

しりうごと

小島成斎 こじませいさい

酣中清話 (かんちゅうせいわ)

後藤梨春 ごとうりしゆん

古今沿革考 (ここんえんごう) 編

小林元雋 こはやしもととし

金剛談 (こんごうだん)

小宮山昌秀 こみやままさひで

諷草小言 (ふうそうしよげん)

楓軒偶記 (ふうけんぐうき)

財津種葵 さいつしゆそう

八十翁疇昔話 (はちじゆうおうむかしばなし)

齋藤徳元 さいとうとくげん

尤の草紙 (もつともぞうし)

齋藤彦麻呂 さいとうひこまる

傍廂 (かたむら)

酒井忠昌 さかいただはる

南向茶話附追考 (なんこうちやわつけたりついでこう)

榊原篁洲 さかきばらうしゅう

榊巷談苑 (さかきこうだんえん)

笹屋邦教 ささやくにのり

新增補浮世絵類考 (しんぞうほうきよえるいこう)

佐藤中陵
さとうちゅうりょう

中陵漫録
(ちゅうりょうまんろく)

山含亭意雅栗三
さんがんていいがくりぞう

天神祭十二時
(てんじんまつりじゅうにとき)

山東京伝
さんとうきょうでん

近世奇跡考
(きんせいきせきこう)

蛛の糸巻
(くものいとまき)

骨董集
(こつどうしゅう)

歴世女装考
(れきせいにじょこう)

慈延
じえん

鄰女語言
(りんじょごげん)

志賀理齋
しがりさい

三省録
(さんせいろく)

理齋隨筆
(りさいずいひつ)

篠崎東海
しのさきとうかい

可成三註
(なるべしさんちゅう)

司馬江漢
しばこうかん

春波樓筆記
(しゅんぱろうしゅひつ)

西洋画談
(せいようがだん)

柴村盛方
しばむらもりみち

飛鳥川
(あすかがわ)

渋川時英
しぶかわときひで

薰風雜話
(くんぷうざわ)

清水浜臣
しみずはまおみ

泊筆話
(はくひなみ)

答問雜稿
(たつもんざこう)

遊京漫録
(ゆうきょうまんろく)

周滑平
しゅうくわへい

妙々奇談
(みょうみょうきだん)

聖応
しょうおう

胡蝶庵隨筆
(こちょうあんずいひつ)

庄司勝富
しょうじかつとみ

異本洞房語園
(いほんどうぼうごえん)

洞房語園後集
(どうぼうごえんごしゅう)

松亭金水
しょうていきんすい

松亭漫筆
(しょうていまんびつ)

積翠閑話
(せきすいかんわ)

鈴木澶州
すずきせんしゅう

撈海一得
(らうかいいつとく)

鈴木忠候
すずきちゅうこう

一挙博覧
(いっきよはくらん)

鈴木基之
すずきもとゆき

松陰隨筆
(しゅういんずいひつ)

清中亭叔親
せいちゅうていとしちゆ

目さまし草
(めさましくさ)

瀬川如皐
せがわじよこ

只今御笑草
(ただいまごわらいぐさ)

牟芸古雅志(むいこがし)

勢多のりみ

思ひの儘の記(おもいのままのき)

瀬名貞雄

瀬田問答(せだもんどう)

千家尊澄

桜の林(さくらの)

高井蘭山

春雨譚(はるさめものがたり)

高橋宗直

莖響録(ていきよ)

滝沢馬琴

燕石雑志(えんせきざっし)

羈旅漫録(きりよま)

玄同放言(げんどうぼ)

耽奇漫録(たんきま)

著作堂一夕話(ちよさくどういつせきわ)

兎園小説(とえんし)

兎園小説外集(とえんしやうせつがいししゅう)

兎園小説拾遺(とえんしやうせつしゅうい)

兎園小説別集(とえんしやうせつべつしゅう)

兎園小説余録(とえんしやうせつよろく)

烹雜の記(にませのき)

沢庵宗彭

玲瓏随筆(れいろうずいひつ)

武田信英

草廬漫筆(そうらま)

建部綾足

折々草(おりお)

竹屋光棣

松竹問答(しょうちくもんどう)

太宰春台

独語(どくご)

多田南嶺

南嶺遺稿(なんれい)

南嶺子(なんれい)

多田義寛

尊菜草紙(そなわの)

橘南谿

北窓瑣談(ほくそう)

橘泰

筆のすさび(ふでの)

竜田舎秋錦

新增補浮世絵類考(しんぞうほうぎ)

谷川士清

鋸宵譚(おがくす)

谷真潮

ざるべし

たぬまよしかず
田沼善一

筆の御霊(ふでの
みたま)

ためながしゆんしゆい
為永春水

閑窓瑣談(かんそう
さだん)

閑窓瑣談後篇(かんそうさだ
んこうへん)

ちはらきよさじ
茅原虚斎

茅窓漫録(ぼうそう
まんろく)

つむりのひかる
頭光

桑楊庵一夕話(そうようあん
いつせきわ)

てがらのおかもち
手柄岡持

後は昔物語(のちむかし
ものがたり)

てらかどせいけん
寺門静軒

静軒痴談(せいけん
ちだん)

どいつねひら
土肥経平

風のしがらみ(かぜのし
がらみ)

春湊浪話(しゆんそ
うろうわ)

とうかえんみちまる
桃華園三千磨

萍花漫筆(ひょうか
まんびつ)

とうずいしや
東随舎

古今雑談思出草紙(ここんざつだん
おもいでそうし)

とうていかん
藤貞幹

好古小録(こうこし
ようろく)

好古日録(こうこに
ちろく)

とくがわみつくに
徳川光圀

西山公随筆(せいざんこ
うずいひつ)

ともばやしみつひら
伴林光平

櫛の落葉物語(ならのおちば
ものがたり)

とよだながのぶ
豊田長敦

上代衣服考(じょうだい
いふくこう)

なかいしゆうあん
中井登庵

とはずかたり(とわす
がたり)

なかじまひろたり
中島広足

海人のくぐつ(あまの
くぐつ)

檀園随筆(たんえん
ずいひつ)

かしのしづ枝(かしの
しづえ)

なかむらしんさい
中村新斎

思斎漫録(しさいま
んろく)

なかやまこうよう
中山高陽

画譚鶏助(がたんけ
いろうく)

なじままたか
名嶋政方

晤語(一)

なるかわせい
生川正香

近世女風俗考(きんせいおんな
ふうぞくこう)

なんざん
南山

南屏燕語(なんべい
えんご)

難波宗建
なんばむねたけ

遠碧軒記(えんぺきけんき) ㊦

西田直養
にしだなおかい

筱舎漫筆(ささのやまんびつ)

西村遠里
にしむらとうさと

閑窓筆記(かんそうひっき)

西村白鳥
にしむらばくう

煙霞綺談(えんかきだん)

西村藐庵
にしむらみやくあん

花街漫録(かがいまんろく)

橋本経亮
はしもとつねあきつ

橘窓自語(きつそうじご)

梅窓筆記(ばいそうひっき)

長谷川宣昭
はせがわのりあき

三余叢談(さんよそうだん)

畑鶴山
はたかくざん

四方の硯(よものすずり)

秦鼎
はたかなえ

一宵話(ひとよはなし)

畑銀鷄
はたぎんけい

銀鷄一睡南柯乃夢(ぎんけいいつすいなんかのゆめ)

八田知紀
はったちものり

桃岡雑記(とうこうざっ記)

花垣幸国
はながきゆきくに

難後言(なんしりゆごん)

馬場文耕
ばばぶんこう

当代江戸百化物(とうだいえどひやくばけもの)

林自見
はやしじけん

雑説囊話(ざっせつわ)

林百助
はやしもすけ

立路随筆(りゅうろずいひつ)

林羅山
はやしらざん

梅村載筆(ばいそんさいひつ)

林笠翁
はやしりゅうおう

庖丁書録(ぼうちょうしよろく)

原徳齋
はらとくさい

三省録後編(さんせいろうくこうへん)

伴蒿蹊
ばんこうけい

閑田耕筆(かんでんこうひつ)

伴信友
ばんのぶとも

閑田次筆(かんでんじひつ)

比古婆衣(ひこばえ)

日尾荆山
ひおけいざん

燕居雑話(えんきよざっわ)

ひしかわもろのぶ
菱川師宣

江戸雀(えど
すずめ) ㊟

ひらがげんない
平賀鳩溪

火浣布略説(かかんぶり
やくせつ)

ふじいたかなお
藤井高尚

松の落葉(まつの
おちば)
三のしるべ(みつの
しるべ)

ふじいらんさい
藤井懶齋

閑際筆記(かんさい
ひっき)

ふじたになりあきら
富士谷成章

おほうみのはし
非南留別志(ひなる
べし)

ふじたにみつえ
富士谷御杖

北辺随筆(きたのべ
ずいひつ)

へずつとらさく
平秩東作

幸野茗談(しんやめ
いだん)

ほそかわむねはる
細川宗春

二川随筆(にせんず
いひつ)

ほっけい
北莖

北国奇談巡杖記(ほっこくきだん
じゆんじようき)

ほりひでなり
堀秀成

磯山千鳥(いそやま
ちどり)
下馬のおとなひ(げばのお
となひ)

まきぼくせん
牧墨僊

一宵話(ひとよ
はなし) ㊟

まつおかときかた
松岡辰方

松竹問答(しょうちく
もんどう)

まつおかゆきよし
松岡行義

後松日記(ごしょう
にっき)

まつだいらさだのぶ
松平定信

花月草紙(かげつ
そうし)

心の双紙(こころの
そうし)
閑なるあまり(しずかな
るあまり)
関の秋風(せきのあ
きかぜ)

まつむらばいこう
松村梅岡

駒谷芻言(こく
そうげん)

まつらせいざん
松浦静山

甲子夜話(かつし
やわ)

みうらはいえん
三浦梅園

梅園拾葉(ばいえんし
ゆうよう)
梅園叢書(ばいえん
そうしょ)

みなみかわきんけい
南川金溪

閑散余録(かんさん
よろく)

みますやにそうじ
三升屋二三治

十八大通(じゅうはち
だいつう)

みやがわまさかず
宮川政運

宮川舍漫筆(みやがわの
やまんびつ)

みやけしようざん
三宅嘯山

和漢嘉話宿直文(わかんかわけのいぶみ)

むらいらしゆう
松井羅州

它山石初編(とやまのいしよへん)

むらたはるみ
村田春海

織錦舎随筆(にしりのやずいひつ)

むろきゆうそう
室鳩巢

駿台雑話(すんだいざつわ)

もとおりのりなが
本居宣長

おもひくさ

もものいとつう
百井塘雨

笈埃随筆(きゆうあいついひつ)

もりしまなかよし
森島中良

桂林漫録(けいりんまんろく)

寸錦雜綴(すんきんざつてつ)

反古籠(かうぐ)

もりやまたかもり
森山孝盛

蟹の焼藻の記(あまのたけのあまのき)

賤のをだ巻(しずのおだまき)

やじまごがく
八島五岳

猿著聞集(ざるちよも)

やなぎはらのりみつ
柳原紀光

閑窓自語(かんそうじご)

やまかわせせき
山川素石

二川随筆(にせんずいひつ)

やまぐちゆきみつ
山口幸充

嘉良喜随筆(からきずいひつ)

やまさきよしなり
山崎美成

赤穂義士随筆(あこうぎしずいひつ)

花街漫録正誤(かがいまんろくせいご)

三養雜記(さんようざつぎ)

世事百談(せじひゃくだん)

提醒紀談(ていせいきだん)

ふもと
麓の花

本朝世事談綺正誤(ほんちようせいたんきせいご)

やまもとほくざん
山本北山

孝経楼漫筆(こうきようろうまんびつ)

ゆあさじようざん
湯浅常山

文会雜記(ぶんかいざつぎ)

りゆうていせんか
笠亭仙果

於路加於比(おろかおひ)

なるの日並(なるひなみ)

りゆうていたねひこ
柳亭種彦

還魂紙料(かんとんしりょう)

足薪翁記(そくしんおうのき)

用捨箱(ようしやう)

柳亭記(りゆうてい)

柳亭筆記(りゆうていひつぎ)

りゆうりきよう
柳里恭

雲萍雜志(うんぴやうざつし)

ろきつあん たみやちゆうせん
盧橋庵(田宮仲宣)

嗚呼矣草(おこた
りくさ)

愚雜俎(ぐざ
つそ)

東牖子(とうゆ
し)(橘庵漫筆(きつあん
まんびつ))

わかつききさい
若槻幾斎

畏庵随筆(いあんず
いひつ)

わたまさみち
和田正路

異説まちまち(いせつま
ちまち)

著者未詳

雨窓閑話(うそう
かんわ)

関秘録(かんひ
ろく)(責任
表示 逸名氏)

曲肱漫筆(きよく
まんびつ)

書僧贅筆(しよかい
ぜいひつ)

続飛鳥川(ぞくあす
かがわ)

浪華百事談(なにわひや
くじだん)

南留別志の弁(なるべし
のべん)

梅翁随筆(ばいおう
ずいひつ)

八水随筆(はっすい
ずいひつ)

弁正衣服考(べんせい
いふくこう)

百草(もも
くさ)(責任
表示 逸名氏)

凌雨漫録(りょうう
まんろく)

我宿草(わがや
どくさ)(責任
表示 太田道灌)

あ行

- あきんどづくしきょうかあわせ
 あこうぎしずいひつ
 あすかがわ
 あまのくぐつ
 あまのたくものき
 あまのまさのりずいひつ
 あるまじ
 iaanずいひつ
 いさなとり
 いせつまちまち
 いそやまちどり
 いちじずいひつ
 いちわいちげん
 いちわいちげんほい
 いっきよはくらん
 いほんどうぼうごえん
 いんていざつこう
 いんていざつろく
 うきくさのあと
 うきよえるいこう
 うそうかんわ
 うめのちり
 うんきんずいひつ
- 商賈尽狂歌合 ↓ 「きんせいあきんどづくしきょうかあわせ」
 赤穂義士随筆 旧二の十二頁三六七／新二の廿四頁一
 飛鳥川 旧二の五頁四一／新二の十頁一
 海人のくぐつ 旧一の五頁七一三／新一の十頁三七七
 蟹の焼藻の記 旧二の十一頁六九三／新二の廿二頁一九九
 天野政徳随筆 旧三の四頁五八三／新三の八頁二五
 あるまじ 旧二の八頁一四七／新二の十五頁一五七
 畏庵随筆 旧一の七頁七七一／新一の十四頁四三三
 勇魚鳥 旧二の四頁一五七／新二の七頁一五七
 異説まちまち 旧一の九頁五七七／新一の十七頁六三
 磯山千鳥 旧一の二頁七二五／新一の四頁三九三
 一時随筆 旧二の一頁七〇三／新二の二頁二九九
 一話一言 旧一の別上下頁／新別一〜六
 一話一言補遺 新別六の六
 一挙博覧 旧二の四頁四二一／新二の八頁一
 異本洞房語園 旧三の一頁六七一／新三の二頁二八九
 筠庭雜考 旧二の四頁四九七／新二の八頁八七
 筠庭雜錄 旧二の四頁七九／新二の七頁七五
 萍の跡 旧二の四頁四五七／新二の八頁四三
 浮世絵類考 ↓ 「しんぞうほうきよえるいこう」
 雨窓閑話 旧一の四頁四九／新一の七頁五七
 梅の塵 旧二の一頁七五一／新二の二頁三五一
 雲錦随筆 旧一の二頁一／新一の三頁一

うんぴょうざつし

えどすずめ

えんかきだん

えんきよざつわ

えんしゅあんざつき

えんせきざつし

えんぺきけんき

おうおうひつご

おがくずばなし

おきなぐさ

おこたりぐさ

おざきまさよしずいひつ

おほうみのはし

おもいくさ

おもいでぞうし

おもいのままのき

おりおりぐさ

おろかおい

か行

かがいまんろく

かがいまんろくせい「

かかんぷりやくせつ

かげつぞうし

雲萍雜誌

江戸雀

煙霞綺談

燕居雜話

円珠庵雜記

燕石雜誌

遠碧軒記

嚶々筆語

鋸宵譚

翁草

嗚呼矣草

尾崎雅嘉隨筆

おほうみのはし

おもいくさ

思出草紙 ↓「こいんざつだんおもいでぞうし」

思ひの儘の記

折々草

於路加於比

旧二の二頁六六九／新二の四頁二四一

旧二の五頁四四七／新二の十頁四五

旧一の二頁五五九／新一の四頁一九七

旧一の八頁一二五／新一の十五頁一五一

旧二の一頁五八七／新二の二頁一七七

旧二の十頁二二一／新二の十九頁二六三

旧一の五頁三六三／新一の十頁一

旧一の五頁一一三／新一の九頁一二一

旧一の三頁七五九／新一の六頁四二一

旧三の十一頁一三三／新三一の九頁二四の頁

旧一の十頁一七九／新一の十九頁一九七

旧二の五頁七六三／新二の十頁三六七

旧三の一頁八三三／新三の二頁四七三

旧一の六頁四九一／新一の十二頁一一五

旧一の七頁一／新一の十三頁一

旧二の十一頁一／新二の廿一頁一

旧二の十頁五九三／新二の廿頁九五

花街漫録

花街漫録正誤

火浣布略説

花月草紙

旧一の五頁二一五／新一の九頁二三九

旧一の十頁七八三／新一の廿三頁三六一

旧二の八頁六〇一／新二の十六頁二三七

旧三の一頁三五三／新三の一頁三八七

かしこのずいひつ	檀園隨筆	旧一の二頁一七五／新一の三頁一九九
かしのしづえ	かしのしづ枝	旧一の八頁四七五／新一の十六頁一
がしようろく	画証録	旧二の二頁七六一／新一の四頁三三九
かぜのしがらみ	風のしがらみ	旧一の五頁五二九／新一の十頁一七七
かたびさし	傍廂	旧三の一頁一／新一の一頁一
かたびさしきゆうびゆう	傍廂糾繆	旧三の一頁一一五／新一の一頁一三五
がだんけいろく	画譚鶏助	旧一の二頁五二三／新一の四頁一五七
かつしやわ	甲子夜話	旧三の七頁八
かていきだん	過庭紀談	旧一の五頁一／新一の九頁一
かなせせつ	仮名世説	旧二の一頁六四七／新一の二頁二四一
かなそぎ	金曾木	旧一の三頁七二七／新一の六頁三八三
がゆうまんろく	雅遊漫録	旧二の十二頁二四一／新一の廿三頁二五三
からきずいひつ	嘉良喜隨筆	旧一の十一頁一一三／新一の廿一頁一一九
がれきざつこう	瓦礫雜考	旧一の一頁四六七／新一の二頁七九
かわやしろ	河社	旧二の七頁一／新一の十三頁一
かんこんしりよう	還魂紙料	旧一の六頁五六五／新一の十二頁二〇三
かんさいひつき	閑際筆記	旧一の九頁一四五／新一の十七頁一五七
かんさいひつきわかんたいこうき	閑際筆記和漢太平広記	↓「かんさいひつき」
かんさんよろく	閑散余録	旧二の十頁五五三／新一の廿頁五三
かんそうさだん	閑窓瑣談	旧一の六頁五〇三／新一の十二頁一三三
かんそうさだんこうへん	閑窓瑣談後篇	旧一の七頁七一三／新一の十四頁三六九
かんそうじご	閑窓自語	旧二の四頁六六九／新一の八頁二六三
かんそうひつき	閑窓筆記	旧二の五頁七八一／新一の十頁三八七
かんちゆうせいわ	酣中清話	旧二の八頁三四五／新一の十五頁三五一
かんでんこうひつ	閑田耕筆	旧一の九頁四九七／新一の十八頁一四九
かんでんじひつ	閑田次筆	旧一の九頁六三九／新一の十八頁二七一

かんぴろく	関秘録	旧三の五・頁三七五／新三の十・頁一
きたのべずいひつ	北辺随筆	旧一の八・頁一／新一の十五・頁一
きつあんまんろく	橘庵漫録	↓「とうゆうし」
きつそうじ	橘窓自語	旧一の二・頁七三九／新一の四・頁四一三
きつそうちやわ	橘窓茶話	旧二の四・頁三三五／新二の七・頁三四七
きゆうあいずいひつ	笈埃随筆	旧二の六・頁二九五／新二の十二・頁一
きゆうしょうらん	嬉遊笑覧	旧二別一・二／新別・七・一〇の九・頁
きゆうだん	奇遊談	旧一の十一・頁六六七／新一の廿三・頁二六九
ぎゆうばもん	牛馬問	旧三の五・頁五五七／新三の十・頁二〇三
ぎよくせきざつし	玉石雜誌	↓「せんしんしゆうぞうぎよくせきざつし」
きよっこうまんぴつ	曲肱漫筆	旧二の九・頁四三一／新二の十八・頁一三
きりよまんろく	羈旅漫録	旧一の一・頁一三七／新一の一・頁一五九
ぎんけいいつすいなんかのゆめ	銀鷄一睡南柯乃夢	旧二の十・頁九七／新二の廿・頁三五五
ぎんせいあきんどづくしきようかあわせ	近世商賈尽狂歌合	旧三の二・頁七四七／新三の四・頁三五五
ぎんせいおんなふうぞくこう	近世女風俗考	旧一の二・頁二五七／新一の三・頁三〇七
ぎんせいきせきこう	近世奇跡考	旧二の三・頁六七一／新二の六・頁二五一
きんらいけんぶんはなしのなえ	近來見聞晰の苗	旧三の三・頁四七一／新三の六・頁九七
くこくすうげん	駒谷蜀言	旧一の八・頁七七七／新一の十六・頁三五三
ぐざつそ	愚雜俎	旧三の五・頁一四七／新三の九・頁二〇一
くせものがたり	癩癪談	旧三の三・頁三五一／新三の五・頁四〇七
くものいとまき	蜘蛛の糸巻	旧二の四・頁二九一／新二の七・頁二九五
くんぷうざつわ	薰風雜話	旧二の九・頁四六三／新二の十八・頁四七
くんもうせんご	訓蒙淺語	旧三の四・頁七三三／新三の八・頁一九五
けいりんまんろく	桂林漫録	旧一の一・頁六四七／新一の二・頁二七七
げばのおとない	下馬のおとなひ	旧二の十一・頁五一一／新二の廿二・頁一
けんかどうざつろく	兼葭堂雜録	旧一の七・頁四〇一／新一の十四・頁一

けんそうしょうげん
げんどほうげん
こうきょうろうまんびつ
こうこしょうろく
こうこにちろく
こがねぐさ
こころのそうし
ここんえんかくこう
ここんざつだんおもいでぞうし
こしょうにつき
こちようあんずいひつ
こつとうしゆう
ころうちやわ
こんこうだん
こんようまんろく

さ行

さいかいぞくだん
さくらのはやし
ささなみひつわ
ささのやまんびつ
ざつせつのうわ
さるちよもんじゆう

諷草小言 旧二の十頁六九／新二の十九頁二三三
玄同放言 旧一の三頁一／新一の五頁一
孝経楼漫筆 旧三の五頁二七七／新三の九頁三六三
好古小録 旧一の十一頁五八三／新一の廿二頁一五三
好古日録 旧一の十一頁四九三／新一の廿二頁五一
こがね草 旧一の十一頁八七五／新一の廿三頁三五一
晤語 旧二の十二頁六〇九／新二の廿四頁二四九
心の双紙 旧一の四頁七九五／新一の七頁二八一
古今沿革考 旧一の九頁一／新一の十七頁一
古今雑談思出草紙 旧三の二頁四二五／新三の四頁一
後松日記 旧三の四頁一／新三の七頁一
胡蝶庵随筆 旧二の九頁七七／新二の十七頁一二九
骨董集 旧一の八頁二七五／新一の十五頁三三七
古老茶話 旧一の六頁一／新一の十一頁一
金剛談 旧三の五頁三六五／新三の十一頁四七五
昆陽漫録 旧一の十頁四三三／新一の廿頁一

齊諧俗談 旧一の十頁二四七／新一の十九頁二八五
桜の林 旧二の六頁一一七／新二の十一頁一二三
泊酒筆話 旧一の四頁七三五／新一の七頁二二三
筱舍漫筆 旧二の二頁一／新二の三頁一
雑説囊話 旧二の四頁七〇七／新二の八頁三五一
猿著聞集 旧二の十頁一四一／新二の廿頁四〇一

ざるべし
 さんせいろうく
 さんせいろうくこうへん
 さんようざつき
 さんよそうだん
 しょじり
 しょじりしゅうい
 しさいまんろく
 しずかなるあまり
 しずのおだまき
 しむろざつき
 じゅうはちだいつう
 じゆんそうろうわ
 じゆんぱろうひつき
 しょういんずいじ
 しょうかんざつき
 しょうこぞうしばさみ
 じょうだいふくこう
 しょうちくもんどう
 しょうていまんぴつ
 しょかいぜいひつ
 しょくくりじんだん
 しりうごと
 しんこうだんえん
 しんぞうほうきよえるいこう
 しんちよもんじゅう

ざるべし
 三省録
 三省録後編
 三養雜記
 三余叢談
 塩尻
 塩尻拾遺
 思齊漫録
 閑なるあまり
 賤のをだ巻
 紙魚室雜記
 十八大通
 春湊浪話
 春波樓筆記
 松陰隨筆
 消閑雜記
 尚古造紙插
 上代衣服考
 松竹問答
 松亭漫筆
 書僧贊筆
 諸国里人談
 しりうごと
 榊巷談苑
 新增補浮世絵類考
 新著聞集

旧二の八頁一五三／新二の十五頁一六三
 旧二の八頁三九三／新二の十六頁一
 旧二の八頁四八九／新二の十六頁一一三
 旧二の三頁四九五／新二の六頁六三三
 旧三の三頁三八五／新三の六頁一
 旧三九〇／新三の一三〇一六
 新三の十七〇一八
 旧二の十二頁五〇一／新二の廿四頁一三七
 旧二の二頁七四九／新二の四頁三二七
 旧三の二頁六三三／新三の四頁二二五
 旧一の一頁五五七／新二の二頁一八一
 旧二の六頁六八五／新二の十二頁三九七
 旧三の五頁六九七／新三の十頁三七五
 旧一の一頁三九五／新二の二頁一
 旧一の七頁三五五／新二の十三頁三八三
 旧三の二頁五九一／新三の四頁一七九
 旧一の一頁七六一／新二の二頁四〇七
 旧一の四頁一／新一の七頁一
 旧三の五頁七八一／新三の十頁四四七
 旧三の五頁二〇三／新三の九頁二九一
 旧一の三頁六八七／新一の六頁三三九
 旧二の十二頁七五九／新二の廿四頁四一三
 旧三の六頁三一五／新三の十一頁四〇五
 旧三の四頁七七五／新三の八頁二三九
 旧二の六頁一五五／新二の十一頁一六七
 旧二の三頁二二五／新二の五頁二三一

しんやめいだん	莘野茗談	旧二の十二頁七一三／新二の廿四頁三六三
すいよしょうろく	睡余小録	旧一の三頁三七五／新一の六頁一
すんきんざつてつ	寸錦雜綴	旧一の四頁一一五／新一の七頁一三七
すんだいざつわ	駿台雜話	旧三の三頁五四三／新三の六頁一七五
せいけんちだん	静軒痴談	旧二の十頁五〇三／新二の廿頁一
せいざんこうずいひつ	西山公隨筆	旧二の七頁七八一／新二の十四頁三六七
せいすいしょう	醒睡笑	旧三の二頁六七三／新三の四頁二六九
せいふうさげん	清風瑣言	旧二の三頁五九一／新二の六頁一六三
せいようがだん	西洋画談	旧一の六頁八〇五／新一の十二頁四七九
せきすいかんわ	積翠閑話	旧二の五頁六七九／新二の十頁二七五
せきのあきかせ	関の秋風	旧三の三頁三一／新三の五頁三六五
せじひやくだん	世事百談	旧一の九頁三六三／新一の十八頁一
せたもんどう	瀬田問答	旧三の六頁五三五／新三の十二頁二三一
ぜんあんずいひつ	善庵隨筆	旧一の五頁七六五／新一の十頁四一九
せんしんしゅうぞうぎよくせきざつし	先進繡像玉石雜誌	旧二の五頁一／新二の九頁一
せんだいかんご	仙台間語	旧一の一頁二五七／新一の一頁三〇五
そうごずいひつ	蒼悟隨筆	旧三の三頁一一一／新三の五頁一五一
そうようあんいつせきわ	桑楊庵一夕話	旧二の七頁二九五／新二の十三頁三〇三
そうろまんびつ	草廬漫筆	旧二の一頁三四七／新二の一頁三五七
ぞくあすかがわ	続飛鳥川	旧二の五頁四二九／新二の十頁二三
ぞくこんようまんろく	続昆陽漫録	旧一の十頁六一三／新一の廿頁一九九
ぞくこんようまんろくほ	続昆陽漫録補	旧一の十頁六三九／新一の廿頁二二九
ぞくじこすい	俗耳鼓吹	旧三の二頁五四九／新三の四頁一三三
そくしんおうのき	足薪翁記	旧二の七頁四八五／新二の十四頁四三三

た行

- ただいまおわらいぐさ
 たわれくさ
 たんきまんろく
 ちこうずいひつ
 ちゆうりようまんろく
 ちよさくどういつせきわ
 つきのおちばしなのまんろく
 ていきようろく
 ていせいきでん
 てんじんまつりじゆうにとき
 てんちようぼくだん
 とうこうざつき
 とうだいえどひやくばけもの
 どうぼうごえん
 どうぼうごえん
 どうぼうごえんいほんこうい
 どうぼうごえんこうしゆう
 とうもんざつき
 とうゆうし
 とえんししようせつ
 とえんししようせつがいしゆう
 とえんししようせつしゆうい
 とえんししようせつべっしゆう
 とえんししようせつよろく
- 只今御笑草
 多波礼草
 耽奇漫録
 雉岡随筆
 中陵漫録
 著作堂一夕話
 槻の落葉信濃漫録
 莛響録
 提醒紀談
 天神祭十二時
 天朝墨談
 桃岡雜記
 当代江戸百化物
 洞房語園 ↓「いほんどうぼうごえん」
 洞房語園異本考異
 洞房語園後集
 答問雜稿
 東廬子
 兔園小説
 兔園小説外集
 兔園小説拾遺
 兔園小説別集
 兔園小説余録
- 旧二の十頁六六五／新二の廿頁一七九
 旧二の七頁一七五／新二の十三頁一八三
 旧一の十二頁／新の頁
 旧二の三頁四三五／新二の六頁一
 旧三の二頁一／新三の三頁一
 旧一の五頁六四三／新一の十頁二九七
 旧一の七頁三六五／新一の十三頁四〇一
 旧三の四頁六九七／新三の八頁一五五
 旧二の一頁四六七／新二の二頁五五
 旧一の九頁七七九／新一の十八頁四五五
 旧三の三頁一／新三の五頁一
 旧三の六頁七六三／新三の十二頁四八一
 旧二の一頁七八七／新二の二頁三八七
 旧三の一頁七二一／新三の二頁三六三
 旧三の一頁七五五／新三の二頁三四七
 旧二の九頁六八九／新二の十八頁二九七
 旧一の十頁八一／新一の十九頁九一
 旧二の一頁一／新二の一頁一
 旧二の二頁三六七／新二の三頁三七七
 旧二の三頁七一／新二の五頁七三
 旧二の二頁四二九／新二の四頁一
 旧二の三頁一／新二の五頁一

どくご
 とのいづみ
 とやまのいししよへん
 とりおどし
 とわずがたり

な行

ないのひなみ
 なつやまざつだん
 なにわのかぜ
 なにわえ
 なにわひやくじだん
 ならのおちばものがたり
 なるべし
 なるべしさんちゆう
 なるべしのべん
 なんかのゆめ
 なんこうちやわつかけたりついで
 なんしりゆうごと
 なんべいえんご
 なんぼゆうげん
 なんれいいいこう
 なんれいいいこうひよう
 なんれいし

独語
 宿直文 ↓「わかにかわとのいづみ」
 它山石初編
 鳥おどし
 とはずかたり
 旧一の九頁二三三／新一の十七頁二五九
 旧二の四頁一／新二の七頁一
 旧三の五頁二六一／新三の十一頁四五七
 旧三の三頁四四三／新三の六頁六五

なみの日並
 夏山雑談
 浪華の風
 難波江
 浪華百事談
 櫓の落葉物語
 南留別志
 可成三註
 南留別志の弁
 南柯乃夢 ↓「ぎんけいすいななのゆめ」
 南向茶話附追考
 難後言
 南屏燕語
 南畝莠言
 南嶺遺稿
 南嶺遺稿評
 南嶺子
 旧二の十二頁七三一／新二の廿四頁三八三
 旧二の十頁六九五／新二の廿頁二一一
 旧三の三頁三三一／新三の五頁三八七
 旧二の十一頁八七〇／新二の廿一頁九一
 旧三の一頁四二九／新三の二頁一
 旧一の三頁七二一／新一の六頁三七五
 旧二の八頁一／新二の十五頁一
 旧二の八頁四九〇／新二の十五頁五一
 旧二の八頁一三三／新二の十五頁一四三
 旧三の三頁七六七／新三の六頁四一三
 旧三の六頁三四五／新三の十一頁四四九
 旧二の九頁六一一／新二の十八頁二〇七
 旧二の十二頁五二九／新二の廿四頁一六七
 旧一の十頁六六一／新一の廿頁二五七
 旧一の十頁七一三／新一の廿頁三一九
 旧一の九頁二九三／新一の十七頁三二三

なんれいしひょう
にしごりのやずいひつ
にせんずいひつ
にませのき
ぬなわのそうし
ねざめのすさび
ねんざんきぶん
ねんねんずいひつ
のちわむかしものがたり
ののやずいひつ

は行

ばいえんしゅうよう
ばいえんそうしょ
ばいえんにつき
ばいおうずいひつ
ばいそうひつき
ばいそんさいひつ
はくせきせんせいしんしょ
はちじゅうおうむかしばなし
はつすいずいひつ
はなしのなえ
はるさめものがたり
はんにちかんわ

南嶺子評 旧一の九頁三五五／新一の十七頁三九六
織錦舎随筆 旧一の三頁二六九／新一の五頁三〇九
二川随筆 旧二の五頁三七三／新一の九頁三九一
烹雑の記 旧一の十一頁三五三／新一の廿二頁四一三
蓴菜草紙 旧二の七頁四五二／新一の十四頁一
ねざめのすさび 旧三の一頁一二九／新一の一頁一五二
年山紀聞 旧二の八頁六二五／新一の十六頁二五七
年々随筆 旧一の十一頁一／新一の廿一頁一
後は昔物語 旧三の六頁五六三／新一の十二頁二六三
野乃舎随筆 旧一の六頁四五五／新一の十二頁六九

梅園拾葉 旧二の三頁一八一／新一の五頁一八七
梅園叢書 旧一の六頁三九七／新一の十二頁一
梅園日記 旧三の六頁三五五／新一の十二頁一
梅翁随筆 旧二の六頁一／新一の十一頁一
梅窓筆記 旧三の三頁二六三／新一の五頁三一
梅村載筆 旧一の一頁一／新一の一頁一
白石先生紳書 旧三の六頁五八九／新一の十二頁二九七
八十翁疇昔話 旧二の二頁五四九／新一の四頁二二五
八水随筆 旧一の三頁四九九／新一の六頁二二五
嘶の苗 ↓「きんらいけんぶんはなしのなえ」
春雨譚 旧三の五頁六一五
半日閑話 旧一の四頁一九一／新一の八頁

ひこばえ
 ひとよはなし
 ひなるべし
 ひやくそうろ
 ひょうかまんびつ
 ふうけんぐうき
 ふでのすさび
 ふでのすさび
 ふでのみたま
 ふもとのはな
 ぶんかいざつき
 へいしよくだん
 へいすいろく
 べんせいいふくこう
 ぼうかえんまんろく
 ほうけいずいひつ
 ほうぐかご
 ぼうそうまんろく
 ほうちようしよろく
 ほくそうさだん
 ほっこくきだんじゆんじようき
 ほんちようせじだんき
 ほんちようせじだんきせい

比古婆衣 旧二の七頁六一七／新二の十四頁一九七
 一宵話 旧一の十頁三三五／新一の十九頁三七五
 非南留別志 旧二の八頁一一五／新二の十五頁一二三
 百草露 旧三の六頁一／新三の十一頁一
 萍花漫筆 旧二の二頁三二五／新二の三頁三三七
 楓軒偶記 旧二の十頁一／新二の十九頁一
 筆のすさび(菅茶山著) 旧一の一頁六三／新の一頁七三
 筆のすさび(橘泰著) 旧三の一頁七六七／新三の二頁四〇三
 筆の御霊 旧一の十頁一／新一の十九頁一
 麓の花 旧三の六頁二七九／新三の十一頁二九三
 文会雜記 旧一の七頁五五一／新一の十四頁一六三
 秉燭譚 旧一の六頁一三三／新一の十一頁一六三
 秉穂録 旧一の十頁七二一／新一の廿頁三二七
 弁正衣服考 旧一の四頁七六九／新一の七頁二五三
 卯花園漫録 旧二の十二頁一／新二の廿三頁一
 保敬随筆 旧二の三頁一五五／新二の五頁一六一
 反古籠 旧二の四頁六五三／新二の八頁二四五
 茅窓漫録 旧一の十一頁七二一／新一の廿二頁二四三
 庖丁書録 旧一の十一頁八五九／新一の廿三頁三三三
 北窓瑣談 旧二の八頁一五五／新二の十五頁一六九
 北国奇談巡杖記 旧二の九頁五五一／新二の十八頁一四三
 本朝世事談綺 旧二の六頁七〇一／新二の十二頁四一七
 本朝世事談綺正誤 旧二の七頁二四一／新二の十三頁二四五

ま行

まつのおちば
 まのつやそうこう
 まのつやそうわ
 まのつやとうりゆうしゅう
 みたきょうものがたり
 みつのしるべ
 みやがわのやまんぴつ
 みやこのてふり
 みようみょうきだん
 むいこがし
 むこうがおかかんわ
 むさしあぶみ
 めざましぐさ
 もつものそうし
 ももくさ

や行

やけのずいひつ
 やつこだこ
 やみのあけぼの
 ゆうえんずいひつ

松の落葉
 松屋叢考
 松屋叢話
 松屋棟梁集
 見た京物語
 三のしるべ
 宮川舎漫筆
 都の手ふり
 妙々奇談
 牟芸古雅志
 向岡閑話
 むさしあぶみ
 目さまし草
 尤の草紙
 百草

旧二の十一頁五二三／新二の廿二頁一七
 旧一の八頁五九七／新一の十六頁一五五
 旧二の一頁四一七／新二の二頁一
 旧一の二頁一三七／新一の三頁一四九
 旧三の四頁五六三／新三の八頁一
 旧一の十一頁四四七／新一の廿二頁一
 旧一の八頁六七九／新一の十六頁二四三
 旧一の三頁二五一／新一の五頁二八七
 旧三の四頁五四一／新三の十一頁三四七
 旧二の二頁五九三／新二の四頁一六九
 旧一の七頁二一一／新一の十三頁二二五
 旧三の三頁七二七／新三の六頁三六九
 旧二の四頁六一三／新二の八頁二〇五
 旧二の三頁六二一／新二の六頁一九五
 旧三の五頁一／新三の九頁一

屋氣野随筆
 奴師勞之
 闇の曙
 幽遠随筆

旧一の四頁一〇三／新一の七頁一二三
 旧二の七頁六〇七／新二の十四頁一七三
 旧二の十一頁七五五／新二の廿二頁二六五
 旧一の八頁五四一／新一の十六頁八五

ゆうきようまんろく
 ゆうげいえんずいひつ
 ゆうけんしようろく
 ゆうらくあんじもうわ
 ようしゃばこ
 ようしよまんびつ
 よものすずり

ら行

らいでんもんどう
 らげつあんこくしよまんしよ
 りさいずいひつ
 りゆうあんざつびつ
 りゆうあんずいひつ
 りゆうあんずいひつしよへん
 りゆうあんずいひつよへん
 りよううまんろく
 りゆうていき
 りゆうていひつき
 りゆうろずいひつ
 りんじよごげん
 れいろうずいひつ
 れきせいじよそうこう
 ろうかいいつとく

遊京漫録 旧二の九頁一／新二の十七頁一
 遊芸園随筆 旧一の五頁七四五／新一の廿三頁一
 輪軒小録 旧二の十二頁六八三／新二の廿四頁三二九
 又楽庵示蒙話 旧一の九頁二六三／新一の十七頁二八九
 用捨箱 旧一の七頁一〇五／新一の十三頁一〇七
 擁書漫筆 旧一の六頁六六一／新一の十二頁三〇七
 四方の硯 旧一の六頁二一七／新一の十一頁二五九

瀬田問答 ↓「せたもんどう」
 蘿月庵国書漫抄 旧一の二頁三七九／新一の四頁一
 理斎随筆 旧三の一頁一九五／新三の一頁二二五
 柳庵雑筆 旧三の二頁三三七／新三の三頁三六三
 柳庵随筆 旧二の九頁一三一／新二の十七頁一八九
 柳庵随筆初編 旧二の九頁一〇一／新二の十七頁一五五
 柳庵随筆余編 旧二の九頁四一九／新二の十八頁一
 凌雨漫録 旧三の四頁六七三／新三の八頁一二七
 柳亭記 旧一の一頁六八七／新一の二頁三二三
 柳亭筆記 旧一の二頁六〇五／新一の四頁二四七
 立路随筆 旧二の九頁五一七／新二の十八頁一〇五
 鄰女晤言 旧二の七頁三六七／新二の十三頁三七五
 玲瓏随筆 旧二の六頁五六九／新二の十二頁二八七
 歴世女装考 旧一の三頁五一五／新一の六頁一四五
 撈海一得 旧一の七頁三〇三／新一の十三頁三二五

わ行

わがやどぐさ
わかにかわたのいづみ
わかんたいこうき

我宿草
和漢嘉話宿直文
和漢太平広記
↓
「かんさいひつき」
旧三の五頁一二七／新三の九頁一三五
旧三の十頁二七五